

平成26年 6月 4日

会長就任のご挨拶

一般社団法人 日本ビルディング協会連合会
会長 高木 茂

会長就任にあたり、ご挨拶申し上げます。

6月4日開催の理事会におきまして、日本ビルディング協会連合会の会長を拝命いたしました。70余年の歴史と伝統を持つ連合会の会長を引き受けるにあたって身の引き締まる思いです。高木丈太郎・前会長には22年の長きにわたり連合会をご指導いただき、有難うございました。諸先輩や全国の会員の皆さまが長年にわたって築いてこられた実績を踏まえ、皆さまとともにビル事業の発展とビル業界の振興に尽力し、連合会への期待と信頼に応えていけるよう努めてまいります。

日本経済は、安倍政権が推し進めるアベノミクス効果が实体经济に波及しつつあり、成長戦略の具体化を通じ、経済の好循環を実現することが課題となっています。一方、オフィスビル市場においても、企業業績の回復を踏まえたオフィスの拡張や移転需要の顕在化に伴う空室率の改善が進み、今後景気の回復による賃料の上昇が期待されています。このように、今年には日本経済にとって、またビル事業にとって、大切な節目の年です。

オフィスビルは、知的生産の場として日本経済を支える重要な施設であり、魅力ある都市の中心的な役割を担っています。そして、今日のビル事業には、成長戦略の重要な柱となる国際競争力の強化と地域の活性化に向けた都市の再生への取組みに加え、東日本大震災の教訓を踏まえた防災対応への強化、地球環境問題への取組みなど大きな期待が寄せられています。

全国19協会の連合体である日本ビルディング協会連合会としましては、全国の会員の創意工夫とエネルギーを結集し、これらの諸課題に積極的な貢献を果たすことが大切であり、私もそのために尽力してまいります。皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。